

令和4年度

保健福祉学部附属診療センター

年報

目次

I 年度目標と実績

II 診療実績

III 教育実績

IV 研究業績

V 従事者名簿

令和4年度目標と実績のまとめ

目標

①医療機関としての安全管理体制整備

- ★安定的な体制維持のための診療機能の検討
- ★適切な業務体制の確立(センター長の補佐)と診療体制の整備(看護師の採用)
- ★感染症等の迅速な情報収集と対策の実施
- ★医療安全のための定期研修、定期点検の実施、安全対策の周知
- ★個人情報の適切な管理

②教育および研究のための体制の充実

- ★学生の学内実習・見学の実施
- ★学外者研修受け入れ

③今後の役割と施設機能の方向性の検討

- ★業務内容の透明化
- ★備品の計画的な更新
- ★広島県地域リハビリテーションサポートセンターとしての地域貢献
- ★積極的な附属診療センターの広報

実績

①医療機関としての安全管理体制整備

◆診療実績

初診患者(36名)、のべ患者数(2,589件)、リハビリテーション(1,077件)

◆診療センター規定の改正

◆診療センター長補佐の設置、看護師の新規採用

◆新型コロナウイルス感染症対応(感染予防と診療機能維持の併行)

・感染症対策として、検温、消毒、問診の徹底、他者との接触の回避、電話診療の実施

◆安全対策のための研修会等の実施

・転倒予防対策、ヒヤリハット事例への対応

・診療用放射線の安全利用研修の実施

・医療安全研修会の実施

「訪問診療の実践(7月27日)」

医療法人よしおかホームクリニック

理事長・院長

吉岡 孝

「精神科での医療安全～小泉病院での取り組み～(12月14日)」

県立広島大学

准教授

井上 誠

小泉病院

看護部長

西村 由美子

小泉病院

作業療法科科长

沖辺 裕樹

さくら草

精神保健福祉士

飯塚 由似

◆コソコソ健康増進号の診療センター備品化と利用促進(出勤回数:33回 測定人数:延べ510名)

②教育および研究のための体制の充実

◆コミュニケーション障害学科・作業療法学科・理学療法学科臨床実習施設としての教育実績

学内実習(45名)、学内者見学(368名)、学外者見学(11名)

◆学外者の研修の受け入れ

広島県発達障害医療機関ネットワーク構築事業業務委託 医師 4名

③今後の役割と施設機能の方向性の検討

◆備品の計画的な整備・更新(知能検査用具、感覚統合器具等)

◆広島県地域リハビリテーションサポートセンター指定施設(平成30年1月1日より継続中)

三原市リハビリテーション会議にリハ助言者として出席(1回)

住民運営の通いの場への人材派遣 4回

◆附属診療センターの広報(本年度はWEB配信にて実施)

感染流行下での業務体制のお知らせ、オープンキャンパス・シティカレッジ・公開講座等の実施

◆年報の作成と公表

来年度計画

①医療機関としての安全管理体制整備

- ★確実な診療体制の構築
- ★医療安全のための定期点検・安全対策の周知
- ★感染症等の迅速な情報収集と対策の実施
- ★個人情報の適切な管理
- ★健全な経営・コスト意識の浸透

②教育および研究のための体制の充実

- ★学生の学内実習・見学の積極的な実施
- ★学外者の研修の積極的な受け入れ

③今後の役割と施設機能の方向性の検討

- ★業務内容の透明化
- ★備品の計画的な更新
- ★広島県地域リハビリテーションサポートセンターとしての地域貢献
- ★附属診療センターの広報の拡大(受験生及び地域住民向け公開講座等)

令和4年度統計

①地域別

地域	初診	再診	実人数	のべ人数
三原市	12	318	330	1473
尾道市	6	126	132	523
広島市	4	12	16	67
福山市	8	106	114	308
三次市	0	0	0	0
呉市	2	1	3	30
世羅郡	0	7	7	38
豊田郡	0	0	0	0
竹原市	0	15	15	38
廿日市市	0	0	0	0
東広島市	0	5	5	15
府中市	0	19	19	35
安芸郡	0	4	4	23
神石郡	0	1	1	2
庄原市	0	1	1	1
山口	4	2	6	13
岡山	0	4	4	16
島根	0	0	0	0
関西	0	1	1	6
関東	0	1	1	1
九州	0	0	0	0
合計	36	623	659	2,589

③初診患者の主診断名

診断名	人数
自閉スペクトラム	0
知的障害	2
注意欠陥多動障害	0
その他の小児神経疾患	0
発声・嚥下・構音障害 吃音	22
難聴	5
その他の耳鼻科疾患	2
脳血管障害	1
脊髄・神経・筋疾患	1
精神科疾患	1
骨粗鬆症	2
認知症	0
その他	0

②年齢別

年齢	初診	再診	実人数
3歳未満	3	1	4
3歳	0	5	5
4歳	2	3	5
5歳	0	12	12
6歳	6	20	26
小1	0	42	42
小2	2	34	36
小3	0	47	47
小4	0	33	33
小5	0	47	47
小6	0	41	41
中1	0	37	37
中2	0	44	44
中3	0	36	36
高校生	2	54	56
19歳～20歳	1	32	33
21歳～30歳	2	17	19
31歳～40歳	5	14	19
41歳～50歳	3	20	23
51歳～60歳	2	18	20
60歳以上	8	66	74
合計	36	623	659

Ⅲ 教育実績

【授業・見学】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
神経障害理学療法学演習(理学療法学コース)	3	30	11月	1	理学療法学科3年次生を対象とし、本学では診療所にも設置されている免荷装置付きトレッドミルを利用した長下肢装具歩行を全員が体験をした。先端的リハとして実施されている脳卒中片麻痺患者に対する長下肢装具歩行による治療について理解を深めた。
身体障害治療学Ⅰ(作業療法学コース)	3	28	5月	1	脊髄損傷のクライアントの協力を得て作成した、上肢機能やADL場面の視聴覚教材を活用して、作業療法学科の3年生に対して、脊髄損傷者の作業療法を教授した。
福祉機器論(作業療法学コース)	3	28	7月	1	脳卒中、脊髄損傷、脊髄小脳変性症の疾患を有するクライアントの協力を得て作成した、福祉用具の活用に関する視聴覚教材を使用して、作業療法学科の3年生に疾患別の福祉用具の適用について教授した。
科学と医学(理学療法学コース、作業療法学コース、コミュニケーション障害学コース、人間福祉学コース)	1	121	7～8月	2	保健福祉学部理学療法学コース、作業療法学コース、コミュニケーション障害学コース、人間福祉学コース1年次生を対象として、保健福祉学部附属診療センターの業務内容の説明および見学を行い、同センターの機能の理解を深めた。
身体障害治療学演習(作業療法学コース)	3	28	10月	1	脳卒中のクライアントの協力を得て撮影した、ADL場面の視聴覚教材を活用して、作業療法学科3年生に対して事例検討演習を行った。
医療画像学(作業療法学コース)	3	28	11月	1	作業療法学科3年生を対象に、医療画像、特にレントゲン画像を得るための方法を解説するため、施設見学を行った。画像取得のための技術を学び、理解を深めた。
基礎臨床実習Ⅰ(作業療法学コース)	1	29	1月	2	作業療法学コース、1年生を対象に、附属診療センターの役割と意義、実際の利用者の概要について、見学と説明を行った。
発達系障害学演習Ⅰ(コミュニケーション障害学コース)	3	28	4～7月	2	K-ABC2発達検査の検査結果の解釈演習・レポート作成課題の基となる検査データについて、当診療センターでの自験例を改変して提示した

Ⅲ 教育実績

【授業・見学】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
医療ソーシャルワーク (人間福祉学コース)	2	41	11月1日(火) 5限に20名, 11月11日(金) 5限に21名	2	医療ソーシャルワーク履修学生41名を2グループに分けて、見学を行った。診療所の機能や施設・設備、専門職の役割やソーシャルワーカーとの関係等の説明と合わせて、各部屋と福祉用具を見て回った。
認知系障害学演習Ⅰ[診断] (コミュニケーション障害学コース)	2	28	3Q	11	標準失語症検査(SLTA)の演習に際し、診療センターでの検査実施場面の動画を使用し、記録、評価などの素材とした。また、複数の診療センターの患者さんの、総合失語症検査結果などを少しデフォルメして、評価・分析の素材とした。
コミュニケーション障害 診断法 (コミュニケーション障害学コース)	2	28	後期	10	ビデオで提示する仮想事例(成人・小児)について、本診療センター内施設を利用して作成した。
発達系障害学演習Ⅱ (コミュニケーション障害学コース)	3	28	後期	9	田中ビネー知能検査、Rey複雑図形検査、WAVES、読み書きスクリーニング検査の解釈演習・レポート作成課題の基となる検査データについて、当診療センターでの自験例を改変して提示した・評価報告書作成演習・訓練計画立案演習において、演習で提示される模擬患者の諸検査を、当診療センターでの自験例を改変して提示した
発達系障害学概論Ⅱ (コミュニケーション障害学コース)	3	28	後期	6	・本科目で学生に提示しレポートを作成させる症例として当診療センターでの担当事例を改変して提示した(中等度の知的障害、重度の知的障害自閉スペクトラム症、特異的言語発達障害・学習障害、小児高次脳機能障害)
発達系障害学演習Ⅳ (コミュニケーション障害学コース)	3	28	後期	2	・本科目で学生に提示しレポートを作成させる症例として、当診療センターでの担当事例を改変して提示した(知的機能障害事例、小児高次脳機能障害事例)
コミュニケーション障害 学概論・演習 (コミュニケーション障害学コース)	1	29	通年	1	失語症の言語障害の症状や拡大代替コミュニケーション(AAC)手段の使用例など、本診療センター内の言語聴覚療法の設備を提示した。
認知系障害学概論・演習 (コミュニケーション障害学コース)	2	28	通年	12	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。また、スクリーニング検査および標準失語症検査場面を観察・記録させ、評価報告書などの作成データとして活用した。

Ⅲ 教育実績

【授業・見学】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
認知系障害学概論・演習(コミュニケーション障害学コース)	3	28	通年	16	失語症および高次脳機能障害のある患者さんのスクリーニング検査、失語症に関する総合検査、精査などの場면을観察・記録させ、評価報告書などの作成データおよび訓練計画を考えるためのデータとして活用した。

【実習】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
小児看護実習 (看護学コース)	4	31	5月, 7月	2	外来について事前オリエンテーションを行い、観察室より小児科医林優子先生の診察場面での見学実習を行った。
総合臨床実習 I (理学療法学科)	4	1	5月	1	学外実習の受入れが中止となった学生に対して、診療参加型実習を行った。
基礎臨床実習 I (理学療法学科)	2	1	9月	4	学外実習の受入れが中止となった学生に対して、見学実習を行った。
評価臨床実習 (作業療法学コース)	3	3	8~9月	4	学内実習の期間中もしくは期間後、外来作業療法の見学・補助を実施した。見学後は担当教員とともに対象者の評価・介入について議論した。
臨床実習 I (コミュニケーション障害学コース)	2	28	通年	24	学生2-3名が1組になり、言語聴覚療法の見学を1組あたり年間3回実施した。(対面またはオンライン)
臨床実習 I (コミュニケーション障害学コース)	2	28	通年	2	プレ実習として、言語聴覚障害を有する事例の協力のもと、評価・訓練場面の動画を学生に提示しながら診療の流れを学習した。
臨床実習 II (コミュニケーション障害学コース)	3	28	通年	115	言語聴覚障害のある患者さんに協力いただき、言語聴覚療法についての評価・計画立案・言語聴覚療法実施・報告書作成などを内容とする実習を、学生1人につき年間8回(ケースカンファレンス2回)実施した。(対面またはオンラインで実施)
臨床実習 III (コミュニケーション障害学コース)	4	26	通年	14	神経内科外来診察(原田医師)に、学生が1-2名ずつ同席し、見学実習を行った。
臨床実習 III (コミュニケーション障害学コース)	4	27	通年	17	小児科外来診察(林医師)に、学生が1-2名ずつ同席し、見学実習を行った。
臨床実習 III (コミュニケーション障害学コース)	4	27	通年	14	耳鼻咽喉科診察(田口医師)に、学生が1-2名ずつ同席し、見学実習を行った。

【卒業研究】

卒業論文タイトル
障害児と生活するきょうだいの思いと支援の実際(看護学コース)
発達障害児を養育する母親の困難(看護学コース)
入院児のきょうだいへの支援の実際(看護学コース)
経時的にクエン酸配合レモン飲料を摂取することによる疲労回復効果への影響—酸化ストレスからのアプローチ—(理学療法学コース)
広島県内の小児作業療法士の保護者支援の現状と課題(作業療法学コース)
広島県内の小児作業療法士の地域連携における現状と課題(作業療法学コース)
涙活によるリラックス効果(作業療法学コース)
音楽視聴が作業効率に及ぼす影響についての検証(作業療法学コース)
30歳未満の成人を対象とした窃盗と発達特性の関係(作業療法学コース)
市販ゲーム機を使った自宅での認知トレーニングの効果(コミュニケーション障害学コース)
オンラインでの音声治療の効果-頻度についての検討-(コミュニケーション障害学コース)
オンラインでの音声治療の効果-手技についての検討-(コミュニケーション障害学コース)
コミュニケーションへの参加に関する質問項目バンク(CPIB)日本語版の作成(コミュニケーション障害学コース)
限局性学習症児童のシャドーイング学習は音読上達に有効か?(コミュニケーション障害学コース)
限局性学習症児童のシャドーイング学習は学習意欲に変化をもたらすか?(コミュニケーション障害学コース)
失語症アプリに関する研究-単語の表示方法の視点から-(コミュニケーション障害学コース)
カプサイシン含有フィルムの継続的摂取が嚥下行動に及ぼす影響(コミュニケーション障害学コース)
COVID-19感染拡大がコミュニケーション活動に与えた影響(コミュニケーション障害学コース)
トロミ添加飲料の食味比較(コミュニケーション障害学コース)

IV 研究業績

【論文】

論文名	雑誌名, 巻号頁	著者名	発表年月日
Community-based Peer Support Programs to Improve Quality of Life for Cancer Survivors: A Systematic Review	Asian Journal of Occupational Therapy 18(1) 17-23	Ikeuchi K, Yasuda Y, Saito R, Nishida S, Orita Y, Sakamoto C	令和4年1月
摂食嚥下リハビリテーションに関する大学生の認識調査	人間と科学22(1)65-76	矢守麻奈	令和4年3月
就学前年児における協調運動とADLの作業遂行能力の関連	日本発達系作業療法学会誌 Vol.9(1),65-73,2022	齋藤知美, 伊藤祐子, 石橋裕, 助川文子, 中井昭夫	令和4年3月
リスニングアワーによる臨床実習時の主観的体験を共有する効果	作業療法教育研究 21(2) 46-47	織田 靖史, 吉川 ひろみ	令和4年3月
子どもの思いから始める支援の重要性 外国にルーツを持つことに悩み向き合い受け入れるまでの経験をもとに	人間と科学 22(1)19-29	増田 一子, 織田 靖史, 永吉 美香, 山西 葉子, 澤田 いのり, 友田 直哉	令和4年3月
発達障害を有する不登校経験者が就労継続にいたるまでの主観的な体験についての質的研究	人間と科学22(1)31-43	友田 直哉, 織田 靖史, 永吉 美香, 山西 葉子, 澤田 いのり, 増田 一子	令和4年3月
新人作業療法士の教育マニュアル作成の取り組みー大学教員と病院作業療法士の連携の成果	作業療法ジャーナル 56(3) 280-285	池内克馬, 西田征治, 山口朗夫, 落合秀俊	令和4年3月
前庭への経頭蓋直流電気刺激による重心移動の促進効果	理学療法科学 37(4) 387-391	福島卓, 松浦晃宏, 苅田哲也, 森大志	令和4年4月
耳鼻咽喉科検査ガイド 音声機能検査 空気力学的検査	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 94(5) 292-296	田口垂紀	令和4年5月
通常学級に在籍する学校適応に困難のある中学生の語りー日本版青年・成人感覚プロフィールとインタビューよりー	作業療法 41 (3),305-314,2022	黒川飛鳥, 助川文子, 伊藤祐子	令和4年6月
医療従事者におけるマスク着用での音声疲労に関する検討	音声言語医学 63(3),183-191	田口垂紀, 玉井東代, 兵頭直樹, 香川咲良, 藤井彩羽, 城本 修	令和4年7月
Factors associated with early step count of patients after total knee arthroplasty: a prospective cohort study	The Philippine Journal of Allied Health Sciences 6(1): 23-31	Hiraga Y, Hisano S, Hara R, Hirakawa Y	令和4年8月

IV 研究業績

【論文】

論文名	雑誌名, 巻号頁	著者名	発表年月日
A case study of motivating care workers for cooperation with a long-term co-creation project	Human Interaction and Emerging Technologies (IHET 2022) 68:84-91	Ihara M, Murakami H, Tokunaga H, Saruwatari S, Takeshita K, Koga A, Yukihiro T, <u>Hisano S</u>	令和4年8月
Association of Mammary Gland Disease With Metabolic Syndrome Factors in Japanese Women—Case-Control Study Based on Health Screening Results	Breast Cancer: Basic and Clinical Research 16, 11782234221127652	Sumida S, <u>Iida T (CA)</u> , Yoshikawa M, Nagaoka K	令和4年8月
パンフレット改善ワークショップを用いた従業員のプロジェクト協力意識醸成と教育効果	人間中心設計 18(2):8-16	井原雅行, 村上宏樹, 徳永弘子, 猿渡進平, 竹下一樹, 古賀昭彦, 行平 崇, 久野真矢	令和4年9月
官能評価及び機器分析によるトロミ付与水溶液のテクスチャー特性の比較	健康科学研究6(1)19-32	黒飛知香, 干野隆芳, 矢守麻奈	令和4年9月
最大舌圧値および舌圧波形解析と音声構音機能との関連-若年成人の場合-	言語聴覚研究 19(3)222	<u>矢守麻奈</u> , 中尾雄太	令和4年9月
摂食嚥下障害患者における最大舌圧測定の意義	日本老年医学会雑誌 59(4)589-590	石部貴之, <u>矢守麻奈</u> , 村上光裕	令和4年10月
Conditions and Situations of Occupation-Based Practice for Patients with Severe Acute Cerebrovascular Accident: A Qualitative Study	Asian Journal of Occupational Therapy 18(1) 199-207	<u>Ikeuchi K</u> , <u>Nishida S</u> , <u>Orita Y</u> , <u>Sakamoto C</u>	令和4年10月
Psychosocial work characteristics and low back pain in daycare (nursery) workers in Japan: a prospective cohort study.	BMC Musculoskeletal Disorders 23 (1), 1-8	Shi X, Aoshima M, <u>Iida T</u> , Hiruta S, Ono Y, Ota A	令和4年11月
障害物発現遅延時の回避運動に関連する脳電位	理学療法の臨床と研究 32(2) 30-36	佐井夏海, 山岡綾花, 荻田哲也, <u>森大志</u> , 松浦晃宏	令和4年11月
自殺・自傷についての基礎知識と作業療法士の対応	作業療法の実践と科学 4(4) 61-71	織田靖史	令和4年11月
Evaluation of Vocal Recognition for Early Detection of Mild Cognitive Impairment	International Medical Journal 29(6) pp. 362-365	<u>Horie M</u> , <u>Harada T</u> , <u>Iida T</u> , Aoi S, Ikeda H	令和4年12月
Bone density differs between paretic and non-paretic sides in hemiplegic stroke patients: Its relationship with autonomic nervous system impairment.	Journal of Magnesium Research 40 (2): 31-38	Ishizaki F, <u>Harada T</u> , Shimizu ME, <u>Iida T</u> , Koyama T	令和4年

IV 研究業績

【論文】

論文名	雑誌名, 巻号頁	著者名	発表年月日
The power of instruction on retropulsion: A pilot randomized controlled trial of therapeutic exercise focused on ankle joint movement in Parkinson's disease.	Clinical Parkinsonism & Related Disorders 7 (2022) 100151: 1-6	Taniuchi R, Harada T, Nagatani H, Makino T, Watanabe C, <u>Kanai S</u>	令和4年
高齢パーキンソン病患者の短期集中入院リハビリテーションにおける転倒リスク判別モデルの検討.	日本老年医学会雑誌 59: 339-346	谷内涼馬, 原天音, 森岡真一, 松川佳代, 植西靖士, 長谷宏明, 牧野恭子, 原田俊英	令和4年
広島広域都市圏の生態系におけるマグネシウム (Mg) 測定の試み	マグネシウム 41 (1): 23-24	新田由美子, 原田俊英, 石崎文子	令和4年
カルシウムを含むレモン果汁飲料の継続摂取が成長期の子どもの骨密度に及ぼす影響.	マグネシウム 41 (1): 25-26	池田ひろみ, 飯田忠行, 平光正典, 井上孝司, 青井聡美, 原田俊英, 石崎文子	令和4年
Asynchronous neural oscillations associated with subliminal affective face priming in autism spectrum disorder	NeuroReport, 34(3): 150-155	<u>Tanaka M</u> , Yamada E, Yamasaki T, Fujita T, Nakaniwa Y, Ogata K, Nakazono H, Maekawa T, Tobimatsu S	令和5年2月
本邦におけるICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を活用した地域在住高齢者のリハビリテーション支援に関するスコーピングレビュー～作業療法領域の課題～	作業療法・福岡 (印刷中)	古賀昭彦, 久野真矢	令和5年3月
Effects of spatially filtered fearful faces and awareness on amygdala activity in adults with autism spectrum disorder: A magnetoencephalography study	Neuroscience Letters, 800 (in progress)	Maekawa T, Kuroki T, <u>Tanaka M</u> , Ogata K, Yamasaki T, Matsubara T, Tobimatsu S.	令和5年3月
コロナ禍での総合臨床実習中の身体障害領域検査に関する実態 —アンケートによる横断研究—	人間と科学23(1)21-29	池内克馬, 西田征治, 織田靖史, 坂本千晶, 増田久美子	令和5年3月
「ココから教室」により, 生活満足度と生きがい感が高まり, 社会参加が促進された一事例 —地域在住高齢者の活動と参加に焦点を当てた記録と対話—	人間と科学23(1)41-49	坂本千晶, 高木雅之, 橋本康太, 十樂真帆, 池内克馬	令和5年3月
三原市の放課後等デイサービスを利用した経験のある子どもを養育する保護者のニーズ調査	人間と科学23(1)51-62	増田 久美子, 坂本千晶, 林 優子, 土路生 明美, 鴨下 加代, 辰巳 健一	令和5年3月

【著書】

タイトル	著者名	担当範囲	出版社	出版年月日
A-QOA(活動の質評価法)ピギ ナーズガイド 認知症のある人の生活を豊かに する21の観察視点と20の支援ポイ ント	小川真寛・白井は る奈・坂本千晶・ 西田征治	分担執筆	クリエイツかもがわ	令和4年6月
図解言語聴覚療法技術ガイド第2 版【音声障害】2.検査・評価 3)喉 頭視診	田口垂紀	分担執筆	文光堂	令和4年11月
図解言語聴覚療法技術ガイド第2 版【音声障害】3.臨床実践 1)医 学的治療	田口垂紀	分担執筆	文光堂	令和4年11月
図解言語聴覚療法技術ガイド第2 版	深浦順一(編集主 幹) 矢守麻奈	分担執筆	文光堂	令和4年11月
臨床作業療法NOVA20巻1号 認知症の人の生活と作業療法 第 2章1. 面接(本人・家族)を生活支 援に活かすポイント	編集: 谷川良博・ 坂本千晶ほか	分担執筆	青海社	令和5年3月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
言語訓練に関わる疾患	堀江真由美	R4年度 大竹市就学指導委員会研修会	令和4年2月
不登校となっている自閉スペクトラム症児に対し、これまですべきだったこと・これからすべきこと(講演)	中黒麗子, 助川文子, 伊藤祐子	日本発達系作業療法学会 第10回学術大会	令和4年3月
コロナ禍の総合臨床実習中の身体障害領域検査の課題に関する横断的調査	池内克馬, 西田征治, 織田靖史, 坂本千晶, 増田久美子	第27回広島県作業療法学会	令和4年3月
マインドフルネス体験会	織田靖史	愛媛県マインドフルネスを学ぶ会	令和4年3月, 5月, 10月, 12月
加齢性音声障害に対する音声治療	田口亜紀	第123回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会	令和4年5月
パーキンソン病のretropulsionに対する足関節運動の教示に焦点を当てた運動療法の効果	谷内涼馬, 松川佳代, 長谷宏明, 牧野恭子, 渡辺千種, 原田俊英	第63回日本神経学会学術大会(東京)	令和4年5月
幼児のオーラルディアドコキネシス検査において最大能力を引き出す教示の検討:モデル音声の速さの影響	小島理恵子, 堀江真由美, 飯田忠行, 中村文, 興山明日香, 小澤由嗣	第48回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	令和4年5月
学習障害へのアプローチ~できないには、できない訳がある学習に苦戦している子どもたちの理解と支援~	林優子	2022年度第1回学習障害勉強会	令和4年6月
心身医学の原点とこれからの使命:一般演題・口演(神経・筋骨格, 運動器)・座長	原田俊英, 熊野宏昭	第63回日本心身医学総会ならびに学術講演会(幕張)	令和4年6月
心身医学の原点とこれからの使命:シンポジウム11 心身医学の原点と心理職のこれからの使命(内山佳代子, 青木絢子, 松田史帆, 富岡光直, 古井由美子)・座長	原田俊英, 中島弘徳	第63回日本心身医学総会ならびに学術講演会(幕張)	令和4年6月
最大舌圧値および舌圧波形解析と音声構音機能との関連-若年成人の場合-	矢守麻奈, 中尾雄太	第23回日本言語聴覚学会	令和4年6月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
ICTを使ったLD児に対する支援について	細川淳嗣	三原市教育委員会教員研修会(特別支援教育学級担当教員対象)	令和4年6月
学習障害に気づき、支援をするために	細川淳嗣	2022年度第1回学習障害勉強会	令和4年6月
マインドフルネス作業療法入門	織田靖史	近畿作業療法学会	令和4年6月
感情調節困難者への承認スキル	織田靖史	広島県警少年育成官研修	令和4年6月
「ココから教室」により、生活満足度と生きがいが高まり、社会参加が促進された一事例	坂本千晶, 高木雅之, 橋本康太, 十樂眞帆, 池内克馬	第23回日本認知症ケア学会大会	令和4年6月
開鼻声・嚥下障害のみを主訴に受診した若年性重症筋無力症の1例	田口亜紀	第84回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	令和4年7月
Effects of therapeutic exercise focused on instructions of ankle joint movement on retropulsion in patients with Parkinson's disease	Taniuchi R, Harada T, Matsukawa K, Nagatani H, Makino T, Watanabe C, Kanai S	16th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress	令和4年7月
疼痛ケアにおける看護師の役割～緩和ケアチーム 看護師の立場から～(石間律子)・座長	原田俊英	疼痛ケアをチームで考える(共催:三原市医師会, 公益財団法人 広島県看護協会, 大塚製薬株式会社)(三原)	令和4年7月
医療・介護現場で誤嚥防止効果を発揮する柑橘果汁含有綿棒の開発	矢守麻奈	2022年度第1回ヘルスケア・医療福祉事業化交流会	令和4年7月
7. 言語機能の評価とリハビリテーション 4) 統語	渡辺 眞澄	日本高次脳機能障害学会 夏期教育研修講座 Aコース「失語症」	令和4年7月
Educational Effectiveness of Remote-Controlled Fieldwork Classes; A Comparison with the CBR	Motohiro A, Hisano S, Nakada N, Aoki R, Fujii H	The 18th WFOT Congress	令和4年8月
コミュニケーション支援技法	矢守麻奈	令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修	令和4年8月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
障害のある子どもに対するストーリー補助具の開発	伊藤祐子, 酒井日出子, 西川康博, 大島浩幸, 福原悠太, 助川文子	LIFE2022 (第21回日本生活支援工学会大会, 日本機械学会福祉工学シンポジウム2022, 第37回ライフサポート学会大会)	令和4年8月
Factors Leading to Employment of Students at Special-Needs Schools with Neurodevelopmental Disorders and Mild Intellectual Disabilities	助川文子, 伊藤祐子	WFOT Congress 2022	令和4年8月
読み書きの困難さについて知る	細川淳嗣	GIGAスクール時代における読み書きに困難を抱える児童・生徒への学習支援(本学公開講座)	令和4年8月
読み書きの困難さへの支援とICT機器	細川淳嗣	GIGAスクール時代における読み書きに困難を抱える児童・生徒への学習支援(本学公開講座)	令和4年8月
支援につかえるアプリやWebサービス	細川淳嗣	GIGAスクール時代における読み書きに困難を抱える児童・生徒への学習支援(本学公開講座)	令和4年8月
導入の実際	細川淳嗣	GIGAスクール時代における読み書きに困難を抱える児童・生徒への学習支援(本学公開講座)	令和4年8月
Content of occupation-based practice for patients with severe acute stroke: A survey of interviews	<u>Ikeuchi K, Nishida S, Orita Y, Sakamoto C</u>	18th WFOT Congress in Paris	令和4年8月
学校作業療法士が通常学級に在籍する児童生徒に行う評価と支援に関する文献レビュー	村松夏海, 山西葉子, 助川文子, 伊藤祐子	第32回日本保健科学学会	令和4年9月
軽度知的能力障害者が一般就労へ移行していくための作業療法士の取り組み	長田真歩, 助川文子, 山西葉子, 伊藤祐子	第56回日本作業療法学会	令和4年9月
急性期脳血管障害者に対する作業基盤の実践に関する勉強会が若手作業療法士の職業的アイデンティティに及ぼす影響: シングルシステムデザインによる検証	池内克馬, 石田史穂, 小若女翔太	第56回日本作業療法学会	令和4年9月
メンタルヘルスの視点から考えるマインドフルネス講座(全4回)	織田靖史	県立広島大学公開講座	令和4年9月, 10月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
地域で子どもたちを育む～発達外来小児科医からのメッセージ～	林優子	一般社団法人クローバーの会主催 第7期発達障がいの発見とその後の 支援に関するキャリア研修会	令和4年10月
学習に苦戦している子どもたちの 理解と支援～できないには、でき ない訳がある～	林優子	第13回広島県小児科医会オンライ ンセミナー	令和4年10月
TABLEトーク: AACの過去から未 来へ	坊岡 峰子	(一社)Coco-on(ココオン)	令和4年10月
学習に困難のある児童・生徒の中 学校卒業以降の進路支援につい て	細川淳嗣	2022年度第3回学習障害勉強会	令和4年10月
シンポジウム「高齢者の気管食道 疾患-高齢者の音声障害-」	田口亜紀	第73回日本気管食道科学会総会・ 学術講演会	令和4年11月
オンラインでのグループボイスセ ラピーの試み	田口亜紀, 西岡未 央, 長谷川久美世, 城本 修	第67回日本音声言語医学会・学術 講演会	令和4年11月
幼児期の子育てで大切にしたいこ と～子どもの発達が心配なお母さ んへ～	林優子	第17回ひかり園講演会(保護者対 象)	令和4年11月
地域で子どもたちを育む子どもの 理解と支援～発達外来小児科医 からのメッセージ～	林優子	第17回ひかり園講演会(支援者対 象)	令和4年11月
新型コロナ感染症の子どもたちへ の影響	林優子	令和4年度公開カウンセリング講座	令和4年11月
大会長・開会の挨拶「心身医療と 地域連携」	原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国 地方会(広島)	令和4年11月
成長期におけるカルシウムを含む レモン果汁飲料の継続摂取が骨 密度に及ぼす影響	池田ひろみ, 飯田忠 行, 平光正典, 井上 孝司, 原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国 地方会(広島)	令和4年11月
生演奏が心身, 心理側面に及ぼ す影響	井上セツ子, 原田俊 英, 井上 誠	第44回日本心身医学会中国・四国 地方会(広島)	令和4年11月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
ハイレゾリューションサウンド(自然音)を聴取した時の自律神経機能への影響について	伊藤祥史, 原田俊英, 石崎文子, 宮崎洋行, 山本竜太, 二矢田勝行	第44回日本心身医学会中国・四国地方会(広島)	令和4年11月
教育セミナー(ランチョン)3 座長: 鉄永倫子「慢性疼痛に対する多角的アプローチ」	原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国地方会(広島)	令和4年11月
教育研修会(特別講演)1座長: 和泉唯信「難病患者さんとのかかわりと治療法開発」	原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国地方会(広島)	令和4年11月
大会長・閉会の挨拶「心身医療と地域連携」	原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国地方会(広島)	令和4年11月
高齢者のコミュニケーション障害と摂食嚥下・栄養障害一言語聴覚士が伝えたい支援のヒントー	長谷川純, 坊岡峰子, 矢守麻奈	県立広島大学履修証明プログラム: 主任介護支援専門員を対象としたスキルアップ講座「スーパーバイザー・レベルアップ講座」	令和4年11月
思春期の発達障害児における静的立位姿勢制御の調査ーフォースプレートを用いた検証ー	前重壮寿, 川本明子, 森川詩奈, 伊藤香織, 白井若奈, 下地千織, 植田健稔, 森川敦子, 飯田忠行	第9回日本小児理学療法学会学術大会	令和4年11月
カルシウム配合レモン果汁飲料摂取による骨代謝・骨密度への影響	池田ひろみ, 飯田忠行, 平光正典, 井上孝司, 青井聡美, 金指美帆, 石崎文子, 原田俊英	第34回日本老年医学会中国地方会	令和4年11月
成長期におけるカルシウムを含むレモン果汁飲料の継続摂取が骨密度に及ぼす影響	池田ひろみ, 飯田忠行, 平光正典, 井上孝司, 原田俊英	第44回日本心身医学会中国・四国地方会	令和4年11月
子どもの行動と学習におけるバランスボール使用の影響-文献レビュー-	ホイルニサ ズルファ, 須山夏加, 助川文子, 山西葉子, 伊藤祐子	第39回日本感覚統合学会研究大会 in神奈川	令和4年11月
メンタルヘルスと作業ー作業療法の中にあるマインドフルネスの視点ー	織田靖史	島根県作業療法士会 精神科懇話会研修会	令和4年11月
運動条件の違いによる同側運動野の活動性の検証	村岡優, 松浦晃宏, 森大志	第26回広島県理学療法士学会	令和4年12月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
音声障害のリハビリテーション	田口亜紀	令和4年度音声言語機能等判定医師研修会	令和4年12月
広島広域都市圏の生態系におけるマグネシウム(Mg)測定の試み.	原田俊英, 石崎文子	第41回日本マグネシウム学会学術集会(Web)(京都)	令和4年12月
カルシウムを含むレモン果汁飲料の継続摂取が成長期の子どもの骨密度に及ぼす影響	池田ひろみ, 飯田忠行, 平光正典, 井上孝司, 青井聡美, 原田俊英, 石崎文子	第41回日本マグネシウム学会学術集会(Web)(京都)	令和4年12月
一般演題27~29「リハビリ」・座長	原田俊英	第34回日本老年医学会中国地方会(米子)	令和4年12月
パーキンソン病の姿勢反射障害におけるPull testの尺度特性ー妥当性・信頼性の検討ー.	谷内涼馬, 原天音, 門田和也, 森岡真一, 植西靖士, 長谷宏明, 牧野恭子, 鳥居剛, 原田俊英	第34回日本老年医学会中国地方会(米子)	令和4年12月
発声発語障害のある人とのコミュニケーションと対人サービス職員の声の健康について	矢守麻奈	第205回福山市内海地域ケア会議	令和4年12月
カルシウムを含むレモン果汁飲料の継続摂取が成長期の子どもの骨密度に及ぼす影響	池田ひろみ, 飯田忠行, 平光正典, 井上孝司, 青井聡美, 原田俊英, 石崎文子	第41回日本マグネシウム学会	令和4年12月
幼児期・児童期の子育てで大切にしたいこと～笑顔になるメッセージ～	林優子	2022年度あいあい学習会(保護者対象)	令和5年2月
多様性を愛おしむ社会に向けて子どもたちを育む～子どもたちの育ちを地域で支える～	林優子	2022年度あいあい学習会(支援者対象)	令和5年2月
作業に焦点をあてた遠隔交流プログラムに参加した地域在住高齢者の経験	古賀昭彦, 安田邦彦, 猿渡進平, 村上宏樹, 竹下一樹, 久野真矢	全国地域作業療法研究大会第28回学術集会	令和5年2月
失語症者の拡大代替コミュニケーション(AAC)を用いたコミュニケーション～AACを活用できていますか?～	坊岡 峰子	山梨県言語聴覚士会 第2回学術講演会	令和5年2月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
学習に困難を持つ事例の事例検討に先立ち、検査結果の理解に必要な知識	細川淳嗣	2022年度第5回学習障害勉強会	令和5年2月
認知症のある人の自宅への退院支援 住み慣れた居場所で生活するために私たちに出来ること	坂本千晶	第21回いずみの会卒後研修会	令和5年2月
子どもも大人も 楽しい！からはじめる健康づくり ～ロボットとのふれあい体験～	増田久美子	第2回認知症予防学習会	令和5年2月
言語障害のある方とのコミュニケーション～失語症・認知症を中心に～	坊岡 峰子	大分県言語聴覚士会研修会	令和5年3月
ペットロボットを用いた「ふれあい遊び」の効果に関する予備研究	助川文子, 増田久美子	日本発達系作業療法学会 第11回学術大会	令和5年3月

【外部資金】

タイトル	代表研究者名	制度名	研究期間
動詞活用の乱れは、音韻、意味の乱れと、悪い友達	渡辺 眞澄	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成29～令和4年度
「身体フレイル」は「脳フレイル」を予測するか？安静時脳波のネットワーク解析	田中睦英	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成30～令和3年度
言語障害児・者を対象とした包括的言語検査に基づいた認知神経心理学的評価基準の開発	川崎医療福祉大学 種村純(分担:渡辺眞澄)	科学研究費補助金 (基盤研究B)	平成30～令和4年度
脳梁を介した大脳皮質一次運動野からの運動出力と二足歩行	森大志	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成31～令和3年度
感情調節困難患者に対するマインドフルネス作業療法介入マニュアルの開発	織田靖史	科学研究費補助金 (若手研究)	令和1～4年度
肢運動に伴う皮質運動領野の活動性増強メカニズムの検証	森大志	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和2～4年度
動詞活用規則のエニグマ-多すぎる規則は使われない	渡辺 眞澄	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和2～4年度
失語症者の実用的コミュニケーション能力に着目した支援プログラムの開発と活用	坊岡 峰子	科学研究費補助金 (基盤研究C)一般	令和3～5年度
フレイルの発症メカニズムについての縦断的探索に基づく介入プログラムの効果検証	飯田 忠行	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和3～5年度
発達課題のある子どもの教育選択に向けて保護者への適切な情報提供のあり方の検討	林優子	科学研究費助成事業 (基盤研究(C))	令和4～6年度
経頭蓋磁気刺激と脳波周波数解析によるコグニティブ・フレイルティの神経基盤の解明	田中睦英	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和4～6年度
口腔交互反復運動を用いた発達性協調運動障害のスクリーニングと評価における有用性	小畠理恵子	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和4～6年度
認知症患者に効果的な早期退院支援プログラムの開発に向けた実践的研究	坂本千晶	科学研究費補助金 (基盤研究C)	令和4～7年度

V 従事者名簿

医師

小児科	林 優子
内科	安武 繁
精神科	藤巻康一郎
耳鼻咽喉科	田口亜紀
神経内科	原田俊英
整形外科	住居広士
脳神経外科	森 大志

看護師

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	日高陵好
看護師（専任）	井上セツ子
	大亀昭子
医療事務受付	田坂春美
	村田智子

コメディカル

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	日高陵子
理学療法士	金井秀作
	田中聡
	小野武也
	島谷康司
	長谷川正哉
	梅井凡子
	西上智彦
	積山和加子
	金指美帆
	佐藤勇太
* 岡村和典	
作業療法士	吉川ひろみ
	小池好久
	久野真矢
	西田征治
	古山千佳子
	高木雅之
	織田靖史
	坂本千晶
	池内克馬
	助川文子
	田中睦英
	増田久美子
言語聴覚士	堀江真由美
	坊岡峰子
	細川淳嗣
	小澤由嗣
	長谷川純
	城本 修
	矢守麻奈
	佐藤紀代子
	渡辺真澄
	津田哲也
	中村 文
小島理恵子	
放射線技師	飯田忠行
社会福祉士	永野なおみ